

柏井小学校だより

学校教育目標

やさしく たくましく いきいきと
～協働し、未来を拓く子の育成～



うばやま

No.7

令和7年6月26日
校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/kashiwai-sho>

「特別支援教育」が特別でなくなる日をめざして！

コマンド：8×2cmの長方形の枠の中に、自分の名前を利き手ではない方で書きなさい。

どんな感じに書けましたか。私もやってみました。結構きれいに書けましたが、指定された枠の中に書くというのは緊張します。当然、利き手より倍以上の時間がかかります。これを家族でやって互いに見合ってみましょう。褒める部分がきっとあるはずです。それは、出された課題がどれだけ難しいかを自分もわかるから、誉めたり認めたりする声かけができるわけです。

では、高速道路で渋滞に巻き込まれてイライラしている場面を想像してみましょう。こんなとき、どのくらい渋滞しているか、何分くらいかかるのかといった渋滞情報があつて見通しがもてるといライライが解消できそうです。車内でテレビなどを見て気を紛らわすことも一つの方法です。

これらは、様々な障害の理解に役立ちます。上述の2例ともに、約40年間特別支援教育に携わってきた岐阜聖徳学園大学の安田和夫教授の話です。周囲の環境が過ごしやすさにどれだけ影響を与えるかをイメージすることで、障害による生きづらさの理解や向き合い方を学ぶことにつながります。

2022年12月に文部科学省が公表した調査結果では、「通常学級に通う小中学生の8.8%に発達障害の可能性がある」とされています。つまり、1学級あたりにすると3人前後いる計算になります。だからこそ、安田教授の言葉が胸に残ります。《診断がついていようがついていまいか、どの子も、ある意味でのデコボコを持っている。どの子にもきちっとした理解と対応をしていく延長上に発達障害があったり、重度の障害があったりすると思う。だから、特別支援教育が特別ではなくなることが大事なことだ》と。レッテルを貼ったり色眼鏡・先入観で見たりすることのない、共生社会の第一歩が学校なのかもしれません。

家族や教職員、クラスの友達など周囲の手助けのもとで確実に成長している子供たち。凸凹があつて当たり前で、違いを受け入れ尊重する心が、生きやすい学校・社会を創ることになります。「違いを認め、互いを尊重する心」を学校・家庭・地域みんなが意識して、特別支援教育が特別でなくなる日を一緒に目指していきませんか。



1	火	国連(UNDP)出前授業⑥ 四中特支交流の	14	月	個人面談開始（～22日） 陶芸教室⑥
2	水	交通安全教室①③ 卒アル(1)⑥ 委員会活動	16	水	給食最終日
3	木	オンライン朝会	17	木	卒業アルバム撮影(2)⑥ 11:35 下校
4	金	縄文体験⑥ 水球出前授業⑥	18	金	大掃除 終業式 11:35 下校
7	月	租税教室⑥	20	日	柏井納涼ふれあいの夕べ
9	水	スコリオ(側弯症)検査⑤	★学校閉庁日は、8/7(木)～15(金)です。土・日曜日を含めてこの間、職員が不在となります。		
10	木	ティンカーベル読み聞かせ 口座引落日			

人権教育の視点から考える《やさしい日本語》

先月、オンラインで「人権教育」に関する協議会が行われました。その中で『在住外国人が抱える問題を人権教育の視点から考える』と題した講演がありました。以前から言われていることですが、「やさしい日本語」の話題が特に印象に残っています。日常にすぐに生かせそうです。



「やさしい日本語」とは、外国人や子供にもわかりやすく情報を伝えるために生まれた表現だと言います。グローバルな社会であり、多文化共生社会であるがゆえに、どんな相手に対しても自分の意図を正しく伝えて、理解してもらう能力はとても重要です。

外国語を駆使したり、母語（日本語）でコミュニケーションをとったりします。そうした中で、相手に合わせて「平易な言葉」に置き換えた「やさしい日本語」は大切にしたいこと。簡単そうに思う一方で、なかなか厄介な気もしますが、これによって「易しさ」が「優しさ」へと変わっていくような気がします。ここでは、伝わりやすい日本語表現を例文から考えてみることにします。

(1) 長文にせず、文を短く分ける。

◆本日、地下鉄で人身事故が発生したため、うばやま電鉄は…

⇒ 今日、地下鉄で事故がありました。それで、うばやま電鉄は…

(2) 文末を単純な形にする。また、「～なければなりません」のような言い回しを避ける。

◆花火大会は、8月2日に江戸川で行われます

⇒ 8月2日に、江戸川で花火大会をします

(3) 主語を省略しない。

◆明日の避難訓練に参加するつもりです

⇒ 私は、明日の避難訓練に参加するつもりです

(4) 敬語（尊敬語・謙譲語）を使わず、相手に何を促したいのかを伝えることを優先する。

◆受付を10時までに済ませていただけますと幸いです

⇒ 10時までに受付に来てください

(5) 婉曲な表現を使わない。

◆おタバコはご遠慮ください

⇒ タバコは吸わないでください



(6) 小学生に伝えるようなイメージで、専門用語やカタカナ英語など使わずに言い換える。

◆喫煙 ⇒ タバコを吸う

◆インフルエンザの予防接種 ⇒ インフルエンザにならないための注射

(7) 書き言葉は、結論や大事な情報をなるべく文章の最初に書く。漢字にはふりがなをふる。

(8) 話し言葉は、ゆっくりはつきり発音する。また、会話の途中で「わかりますか」と確認して、理解度を確かめながら話す。伝わっていないと感じたら、何度も言い換えを行う。

◆公共交通機関を利用してください

⇒ バスやタクシー、電車で来てください（自分の車で来てもダメです）

◆ご飯を食べに行きます

⇒ ご飯を食べに行きますか

<引用> 一橋大学 庵 功雄 教授のコラム記事

◆相談窓口を改めて周知します◆

児童・保護者・教職員を問わず、セクハラ・わいせつ等で困ったことや心配なことがある場合の窓口は次のとおりです。それ以外でも、声をかけやすい者に一度ご相談ください。秘密は守ります。

①青木教頭 ②菱沼養護教諭 ③みらいサポーター（成田・坂本・安東・宮森）

◆国連開発計画による出前授業(7/1)◆

万博の国連パビリオン「アフリカ・ウィーク」(8/17~8/24)を前に、国連職員が全国8地域で出前授業を行います。関東ブロックでは、柏井小6年生を対象に実施されます。アフリカに関するワークショップ等を通じてその文化に触れ、異文化理解・国際協調の意識を高めることを目標とします。